

ジャパンドローン開幕

「ジャパンドローン2019」が13日、千葉市美浜区の幕張メッセで開催した。ドローンメーカーや測量・点検などさまざまな分野から222社



見洋設計測量のブース

・団体が最新技術を出展。見洋設計測量(足利市)は「とちぎUAVフィールド」を紹介している。期間中の来場者数は約1万5000人を見込む。15日まで。

ジャパンドローンは、一般社団法人日本UAS産業振興協議会(JUIDA)が主催。ドローンに特化した国内最大規模の国際展示会・コンフ

見洋設計測量が出展 千葉県幕張に222社と団体、15日まで

アレンスで、2016年の初開催以来、ドローン産業界の着実な成長とともにスケールを拡大している。

今回は、よりビジネスストロビネス色を強めることも国際化を推進。ドローン業界の大きなテーマである「目視外飛行・夜間飛行」の実現なども視野に入れ、ドローンに関わるさまざまなビジネス分野をターゲットとする。



水中ドローンの操縦

し、「産業の発展には人材育成が欠かせない」と強調。ドローンの更なる高みを目指す考えを示した。

本県からは見洋設計測量が出展。グループ企業である三好鉱業(佐野市)の鉾山敷地内に開設した、関東最大級の無人飛行機専用飛行場「とちぎUAVフィールド」を紹介している。

また、県内で初めて、UTC教育プログラムに沿ったドローンスクールを開講する。対象地形の撮影から解析、3Dデータ作成まで一通りの測量作業が習得できる。4月開催が国内外で加速的に進んでいる現状を説明した。

の指定に関する要綱」

の田村哲男副会長は「建築士事務所の開設者や管

本編では、はじめに県土整備部建築課の大嶋健

理事が▽建築士事務所の倫理と責務▽建築士事務

への取り組み▽環境配慮への対応▽建築ストック

続いて、五十嵐清真議長が「大震災を経験